

事業ID: 2024005207

事業名: 海と日本 PROJECT in 広島県 (CFB・海と日本 2024)

団体名: 一般社団法人瀬戸内プロジェクトin広島

極秘

日本財団御中

海と日本 PROJECT in 広島県 (CFB・海と日本 2024) 実施報告書

一般社団法人瀬戸内プロジェクトin広島

企画実施報告書

タイトル	漁協での高校生による課題解決学習
実施期間	2024年9月15日(日曜日)～2024年9月16日(月祝曜日)
実施場所	・広島市中区PARCO前 ・広島市中区RCC社屋 ・廿日市市地御前漁業協同組合
参加人数	愛媛県立松山西中等教育学校 生徒3名、引率1名 近畿大学附属広島高等学校・中学校 福山校 生徒10名、引率1名
主催	(一社)瀬戸内プロジェクトin広島
協力団体	広島県環境保全課 瀬戸内海環境戦略グループ/広島県農林水産局水産課 水産振興グループ/一般財団法人 広島県環境保健協会/広島県漁業協同組合連合会/地御前漁業協同組合/NPO法人 木野環境/株式会社フィッシュフレンズ 観覧者:日本財団 塩入同/阿多田島漁業協同組合 川原 秀正(組合長) 一般社団法人みんなでびぜん杉本 宗一(事務局長)/南海放送株式会社 田中拓希
企画概要	「瀬戸内オーシャンズX 高校生連携授業(松山西中等教育、福山近大)」という名で実施した本企画は未来を担う高校生(中学生も数名)に閉鎖性海域である瀬戸内海がかかえる問題を理解し、未来に繋げるための対策を考えてもらうための機会として実施した。
企画詳細	松山西は愛媛の海に漂着していた「広島」の牡蠣養殖パイプ」をきっかけに、近大福山は科学部として「生物」を守るという観点から参加。 また、各校が今までに調査研究してきた取り組み内容の発表の場としても活用。エリアを超えて、交流を図り、各県(庁)の思考のバージョンアップ、地域における活動の連鎖の創出。 行政、漁連、環境協、漁協、NPO、企業と高校生が関わることで、斬新なアイデアを新たに発掘できた。 一方からの見方だと解決策が端的になってしまいがちだが、立場を変えてみると新たな視点からアイデアが浮かんでいた。それが愛媛から見る「広島」と「広島」から見る「広島」、愛媛からみる広島と今までの価値観に変化をもたらした。 海洋ごみを「出さない施策」、出してしまった海洋ごみを「回収する工夫」、回収したごみを「価値あるものにする技術」と多方面から学ぶ機会になり、高校生のこれからの学習に大きく影響することを望む。

事業ID: 2024005207

事業名: 海と日本 PROJECT in 広島県 (CFB・海と日本 2024)

団体名: 一般社団法人瀬戸内プロジェクトin広島

極秘



調査研究内容を発表する
愛媛の松山西中等教育学校



牡蠣養殖業者の牡蠣パイプ回収状況を説明する
広島県農林水産局水産課 水産振興グループ
担当者



海岸清掃でわかるごみの内容についてと問題について「伝えること」の重要性を教える環境保健協会担当者





地御前の牡蠣養殖の過程を実際に船に乗って、
牡蠣筏から引き揚げてもらって見学



「ごみの分別」についてと「海洋ごみ」によくある「PP」「PE」から何がアップサイクルできるのか考える参加者（講師：木野環境）



釣り人と海洋ごみを結ぶソーシャルビジネスについて説明するフィッシュフレンズ

参加した子ども ・保護者からの声	<div>・現地でしか学べないことをたっぷり吸収できた</div> <div>・生徒の研究も、多角的視点が増え、人の顔を見てどうあるべきかを考えることができそう</div> <div>・養殖現場での実地研修をはじめ、様々な切り口で、海洋ゴミ問題や漁業問題のお話を伺うことができ、新たな知見を得ることができた</div> <div>・愛媛県では知りえない広島の実状や大人たちからの需要(我々へのアイデア)を聞くことができ、とても貴重な機会だった。</div> <div>・海洋ごみや海の環境問題の最前線で取り組んでいる人の話を聞いた。瀬戸内海以外の地域の取り組みも知りたい。</div>
配布物	<div>①ノベルティノート&クリアファイル</div> <div>②Tシャツ(CFB仕様)</div> <div></div> <div></div>

自社媒体露出

・「イマナマ！」 放送日: 2024年9月24日



他媒体露出

株式会社 マリモホールディングス ホームページ ニュース一覧
掲載日: 2024年9月24日
<https://www.marimo-hd.co.jp/news/lutfcalpoaib>



企画実施報告書

タイトル	プロスポーツチームと広島を代表する企業の連携施策
実施期間	2024年7月15日(月祝曜日)
実施場所	広島市中区 エディオンピースウイング広島周辺
参加人数	161人
主催	(一社)瀬戸内プロジェクトin広島
協力団体	サンフレッチェ広島 広島県 環境県民局 環境政策課
企画概要	新スタジアム効果で観戦チケット即完売続きのサンフレッチェ広島を旗振りにスポGOMIを行い、海洋ごみ事業に関心のある企業、影響力のある企業とのマッチング拠点を作った。
企画詳細	<p>クラブ独自に清掃活動を行う等、サンフレッチェが環境問題に強い関心があることは広島の経済界において周知の事実であったため、本事業を通じて海洋ごみ事業に関心のある企業や影響力のある企業のマッチング拠点を作り次年度以降の活動に繋げるために、企画を立案した。</p> <p>広島県「ひろしま地球環境フォーラム」とタイアップし、広島県の取り組みに参加する高校生を本イベントに取り込むことができた。</p> <p>サンフレッチェ広島のファン感謝デー内でイベントを実施することで、現役のサンフレッチェ広島の選手を巻き込むことを可能にした。</p> <p>サンフレッチェ広島アンバサダーの森崎浩司、現役選手の越道 草太(こしみち そうた)選手、サンフレッチェ広島レジーナの左山 桃子(さやま ももこ)選手もゲスト参加し、憧れの選手との清掃活動を通じて、清掃活動へのイメージ改革を図り、「清掃活動はカッコいい！清掃活動は楽しい！というポジティブ層を増やすことができた。</p> <p>またサンフレッチェ広島の公式Xでも活動報告の発信を依頼。多くのサポーターへの周知に成功した。</p> <p>この結果、来年度のスポGOMI開催時に協賛を検討する企業もあり、既にナショナルクライアントの地元支店や、地場の老舗企業複数社から、問い合わせが入っている。</p>

事業ID: 2024005207

事業名: 海と日本 PROJECT in 広島県 (CFB・海と日本 2024)

団体名: 一般社団法人瀬戸内プロジェクトin広島

極秘



新スタジアム付近を掃除する
左:越道選手 右:左山選手



サンフレッチェ広島のファンと一緒にゴミを拾う
越道選手 真ん中RCC伊東平アナウンサー



イベント参加者 集合写真



清掃後のお楽しみ会




清掃活動に参加してくれた家族

Instagram

ログイン 登録



サンフレッチェ広島レジーナの公式Xで活動報告

参加した子ども ・保護者からの声	<ul style="list-style-type: none">・大好きなサンフレッチェ広島の選手と交流ができてうれしかった。・スタジアム付近が綺麗だと嬉しい・家族で参加できるので嬉しい・ゲーム感覚で拾えたのでよかった
配布物	<p>①ノベルティノート&クリアファイル</p> 

自社媒体露出	
<p>・「イマナマ！」 放送日: 2024年8月5日</p> 	<p>・募集告知 放送期間: 2024年7月1日～7月10日 放送本数: 40本</p> 
他媒体露出	
<p>・サンフレッチェ広島レジーナ公式X 掲載日: 2024年7月16日</p>	

企画実施報告書

タイトル	人気お笑いコンビとボートレース宮島との連携モデル
実施期間	2024年10月14日(月祝曜日) 13:00～14:00
実施場所	ボートレース宮島 イベントホール
参加人数	発表者: 高校生7名(当日登壇: 近大福山4名 ビジョン投影: 松山西中等教育3名) ゲスト: アインシュタイン(2名)、日本財団海野常務理事 会場来場者: 約500人
主催	一般社団法人瀬戸内プロジェクトin広島
協力団体	ボートレース宮島企業団、 近畿大学附属広島高等学校 中学校 福山校の科学部 愛媛県立松山西中等教育学校 新世界学辞典 吉本興業
企画概要	海洋ごみ問題に興味関心のある高校2校と日本財団、RCC人気番組がタイアップ。 高校生の学びの成果の発表の場と、知識とアイデアの拡大、さらにそれを多くの来場者に周知する場の提供。また、人気番組内でも本企画を入れ込み、電波を使って県民に広く発信した。
企画詳細	海プロの事業である「広島の手まるごと体験フェスタ」イベント内で番組公開収録を同時に行う。CFB事業の一環として行ったのは、「ひな壇団×海と日本プロジェクトin広島トークセッション」。RCCの人気番組である「アインシュタインの出演! ひな壇団」という番組とCFB事業の企画の一つで「ボートレース宮島」という場所で高校生の海洋ごみに関する成果発表をコラボさせた。 高校生は瀬戸内オーシャンズXの事業のひとつで行った「高校生連携授業」に参加してくれた広島の近大福山高校と、愛媛の松山西中等教育学校の2校から生徒が出演。 近大福山は生物ビオトープを、松山西は牡蠣養殖パイプをフックに、両校が力を入れて追いかけてきたそれぞれのテーマの成果を発表しつつ、海洋ごみ問題を考える上での提言を行った。 それに対して一般人視点で受け止めや質問を行うアインシュタインと、より深い視点で解説や逆質問を投げかける日本財団海野常務理事の三者の関わりの中で、海洋ごみ問題の認知と行動のきっかけを、多くの来場者お呼び視聴者へ与える事ができた。

事業ID: 2024005207

事業名: 海と日本 PROJECT in 広島県 (CFB・海と日本 2024)

団体名: 一般社団法人瀬戸内プロジェクトin広島

極秘



約500名の来場者



成果発表をする近大福山高校 科学部



愛媛の松山西中等教育の発表(動画発表)



発表にたいして受け答える
日本財団海野常務理事



集合記念写真



宮島ボートレースの告知物

参加した高校生からの声	<div>・瀬戸内オーシャンズXの仲間としてこれからもがんばりたい。</div> <div>・今年度一緒に取り組んできた活動の集大成として、公開収録という形での成果発表ができてよかった。</div>
配布物	<div>①パンフレット 約500部</div> <div></div>

自社媒体露出

<div>・「イマナマ！」放送日: 2024年10月21日</div> <div></div>	<div>・RCC HP内</div> <div></div>
---	---------------------------------

他媒体露出

<div>・ボートレース宮島 チラシ/WEB掲載</div> <div></div>
--

企画実施報告書

タイトル	瀬戸内オーシャンズXとの積極的な連携！
実施期間	2024年6月2日（日曜日）～2024年8月6日（火曜日）
実施場所	福山市全域/福山城周辺
参加人数	12,500名
主催	福山明るいまちづくり協議会/一般社団法人 瀬戸内プロジェクトin広島
協力団体	福山市、国土交通省福山河川国道事務所、広島県、 各学区（町・地区）まちづくり推進委員会 グリーンパートナーおかやま 藤原 瑠美子
企画概要	広島県の課題の備後地域である福山市最大の清掃活動「芦田川を守る日」とRCCラジオ「ヨルノバ」を連動し、広島県内の高校生をこの清掃活動に勧誘。さらには、清掃活動後に高校生同士の交流会を開催し、各校の活動を共有する。 次代を担う高校生年代の人材と市町、企業を繋ぎ、単発的な展開ではなく、継続性を持ったムーブメントを起こす。
企画詳細	「芦田川を守る日」は地場の大きな企業も参加する福山市の大型清掃活動。福山市に協力を求め、RCCラジオでも清掃活動の募集を実施。 当日は、福山市市長も開会式に出席し、冒頭で本事業について触れた挨拶をしていただく。瀬戸内オーシャンズXの呼びかけで広島・岡山県から中高生が40名参加した。 下記、参加校 如水館高校インターアクト部、広島大学附属高校ユニセフ班、福山誠之館高校生徒会長、近大福山中・高校 科学部、盈進高校 環境科学研究部、岡山県から芳泉高校、岡山高校、明誠高校、旭東中学、精華学園高校 清掃活動参加後に、中高校生参加者の交流会を行った。 瀬戸内オーシャンズXについて日本財団塩入さんから説明、各校の発表、各校への質疑応答。 交流会終了後、意気投合したメンバーで今後の情報共有をするという名目でLineグループを作成。（CFB事務局も参加） 後日、上記イベントをきっかけに8月6日に近大福山高校の自主企画でこのLineグループで呼びかけで集まったメンバーで福山城周辺の清掃活動を実施。 事前に近大福山高校の学生から事前相談もあった。 「近大福山科学部&誠之館生徒会執行部 コラボイベント」というタイトルで8月6日（火）10時～11時 福山城周辺の清掃活動 参加人数（7名） 内 近大福山2名 誠之館5名

事業ID: 2024005207

事業名: 海と日本 PROJECT in 広島県 (CFB・海と日本 2024)

団体名: 一般社団法人瀬戸内プロジェクトin広島

極秘



開会式冒頭に瀬戸内オーシャンズXとのコラボについて触れる福山市枝広市長



RCCラジオで高校生に呼びかけ、本コラボイベントの趣旨を伝えるRCC田村アナ



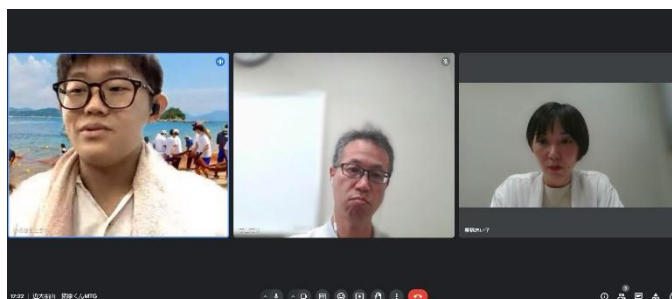
社をあげて参加する地場の企業や地元住民参加者




ごみを拾う高校生参加者



交流会参加者と集合記念写真



自主イベントをやりたいという近大福山の学生とのオンラインMTG

参加した子ども ・保護者からの 声	<ul style="list-style-type: none">・他県の高校生と繋がれて嬉しい・他の高校の取り組みを聞いて、自分たちの取り組みと比較できた・自分たちの取り組みを聞いてもらえてよかった・他の高校の子たちが海洋ごみの専門的な知識をいっぱい持っていていい経験になった。・自然が汚れてしまっているのはつらいので、清掃活動を今後もできたらいいなと思っている。
配布物	<p>①ノベルティノート&クリアファイル</p> 

自社媒体露出	
<p>・「イマナマ！」 放送日: 2024年6月10日</p> 	<p>・募集告知 ラジオ「ヨルノバ」 放送期間: 2024年5月20日～5月27日 放送回数: 2回</p> 

清掃活動実施報告書

合計開催場所数	7ヶ所
合計開催回数	8回
合計参加人数	13151人
合計回収数	ごみ袋: 3222枚(可燃2128枚／不燃1094枚)
実施報告	福山市の福山明るいまちづくり協議会主催の福山市全域大型清掃イベント「芦田川を守る日」と瀬戸内オーシャンズXがタイアップすることができた。地場の大規模優良企業も参加しているこのイベントは12500名という大規模清掃活動で多数の方にSOXについて周知する工夫ができた。また福山地域は広島県として課題の清掃ホットスポットのため、いい効果の普及が見込まれた。 サンフレッチェ広島とのコラボで実施した「スポGOMI inサンフレッチェ広島ファン感謝デー」では161名も参加し、選手と一緒に楽しみながら、「ごみ拾い」し、事務局としては、ただ街がきれいになるだけでなく、海を守ることも合わせて実施できていることを伝えることができた。

No	参加団体名	実施期間	実施場所	参加人数
1	福山明るいまちづくり協議会	6/2	福山市	12500
2	サンフレッチェ広島(スポGOMI in サンフレッチェ広島ファン感謝デー)	7/15	広島市	161
3	近大福山科学部&誠之館生徒会執行部	8/6	福山市	7
4	GSHIP(TOYOTAほか)	10/14	廿日市市	200
5	福山市(世界バラ会議200日前清掃)	11/9	福山市	130
6	広島城オイスターフェス CFB清掃	2/16	広島市	6
7	ドラッグストアウォンツxユニリーバジャパンx海洋ごみ問題ジブンゴト化プロジェクトin広島【レモンチといっしょに宮島海岸清掃】	3/22	廿日市市	102
8	離島海ごみ清掃活動 in 尾道加島 ～立ち入りが困難な海岸清掃活動～	3/25	尾道市	45
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

事業ID: 2024005207

事業名: 海と日本 PROJECT in 広島県 (CFB・海と日本 2024)

団体名: 一般社団法人瀬戸内プロジェクトin広島

極秘



6/2「芦田川を守る日」の参加者



7/15 スポGOMI in サンフレッチェ広島ファン感謝デー」で新スタジアム付近を掃除する
左:越道選手 右:左山選手



8/6「近大福山科学部&誠之館生徒会執行部
コラボイベント」



10/14 GSHIPとトヨタによる「トヨタソーシャルフェス」



3/22 ドラッグストアウォンツ×ユニリーバジャパン×
海洋ごみ問題ジブンゴト化プロジェクトin広島



3/25 離島海ごみ清掃活動 in 尾道加島
～立ち入りが困難な海岸清掃活動～

メディア露出報告書

自社での合計制作本数	20本(番組19本／CM0本／報道1本)
自社での合計放送回数	21回(番組19回／CM0回／報道2回)

No	放送日	曜日	放送種別	番組名	放送内容	放送回数
1	4/20	土	テレビ	JNNニュース	瀬戸内オーシャンズX 海洋ごみ対策事業3年延長で合意	2
2	4/23	火	テレビ	イマナマ！	瀬戸内オーシャンズX 海洋ごみ対策事業3年延長で合意	1
3	5/20	月	ラジオ	ヨルノバ	「海ごみ物語！～ごみ拾いと青春～」コーナースタート	1
4	5/27	月	ラジオ	ヨルノバ	「海ごみ物語！～ごみ拾いと青春～」コーナースタート	1
5	6/3	月	ラジオ	ヨルノバ	「海ごみ物語！～ごみ拾いと青春～」コーナー	1
6	6/6	木	テレビ	イマナマ！	ごみゼロウィーク コスプレキックオフ	1
7	6/10	月	テレビ	イマナマ！	瀬戸内オーシャンズX 高校生と連携で清掃活動	1
8	6/10	月	ラジオ	ヨルノバ	「海ごみ物語！～ごみ拾いと青春～」コーナー	1
9	6/17	月	ラジオ	ヨルノバ	「海ごみ物語！～ごみ拾いと青春～」コーナー	1
10	6/24	月	ラジオ	ヨルノバ	「海ごみ物語！～ごみ拾いと青春～」コーナー	1
11	8/5	月	テレビ	イマナマ！	スポGOMI in サンフレッチェ広島ファン感謝デー	1
12	8/15	木	テレビ	イマナマ！	スポGOMI甲子園2024 広島県大会	1
13	8/28	金	ラジオ	Wひろしのフライデーヒーロー	スポGOMI甲子園2024 広島県大会	1
14	7/2	火	ラジオ	ヨルノバ	「海ごみ物語！～ごみ拾いと青春～」コーナー	1
15	9/24	火	テレビ	イマナマ！	瀬戸内オーシャンズX 高校生連携授業	1

メディア露出報告書

No	放送日	曜日	放送種別	番組名	放送内容	放送回数
16	10/21	月	テレビ	イマナマ！	日本財団×RCCテレビひな壇×高校生 ポートレース宮島でトークセッション	1
17	11/20	水	テレビ	イマナマ！	かき養殖のプラスチック廃棄物 再資源化のプラントが稼働 海洋プラごみを燃料に	1
18	11/26	火	テレビ	イマナマ！	スポGOMIワールドカップ 広島STAGE	1
19	12/6	金	テレビ	イマナマ！	かき養殖プラスチック廃棄物 再資源化プラントお披露目	1
20	12/20	金	テレビ	イマナマ！	スポGOMI甲子園 広島表敬訪問&全国大会	1

事業ID: 2024005207

事業名: 海と日本 PROJECT in 広島県 (CFB・海と日本2024)

団体名: 一般社団法人瀬戸内プロジェクトin広島

極秘



4/20「JNNニュース」



4/23「イマナマ！」



6/6「イマナマ！」



8/5「イマナマ！」



9/24「イマナマ！」



11/26「イマナマ！」

商品開発報告書

商品名	サッポロ生ビール黒ラベル「瀬戸内海環境保全応援缶」
販売期間	2024年9月18日～2024年11月31日
販売場所	近畿(一部)・中四国・九州エリア
販売金額	約224円(税込)
販売個数	72,000個(24本入りケース×3000)
賞味期限	製造日より1年後
連携先	連携先名: サッポロビール(株) 連携先事業内容: パッケージタイアップ 連携先がCFBに賛同した理由: 本商品を通じて、瀬戸内エリアとのつながりを大切にし、瀬戸内海の豊かな自然を未来につなげる環境保全に貢献していきたいと考えているため。 連携内容: 本商品の売上1本につき1円を「瀬戸内オーシャンズ X」に寄付
海の学び／メッセージ	商品ラベル: 瀬戸内海の豊かな自然と楽しさをイメージしたデザイン 販売店舗POP: 下記の通り キャンペーンサイト: https://www.sapporobeer.jp/news_release/0000016916/
商品概要(開発ストーリー)	サッポロビールとの連携を強める中で、本事業の意図や狙いに強い共感を得られ、「今年度も是非実施を続けたい」と積極的なアプローチがあり、2年連続でのコラボに至った。今年度も継続のパッケージタイアップ。 特長: 瀬戸内海の豊かな自然をイメージしたデザインとし「海と日本プロジェクト」と「瀬戸内オーシャンズ X」のロゴを配置。・缶体に「瀬戸内オーシャンズ X」のホームページにアクセスできる二次元コードを表記。

